



陰陽五行論塾Contents

六十花甲子(癸)

六十花甲子

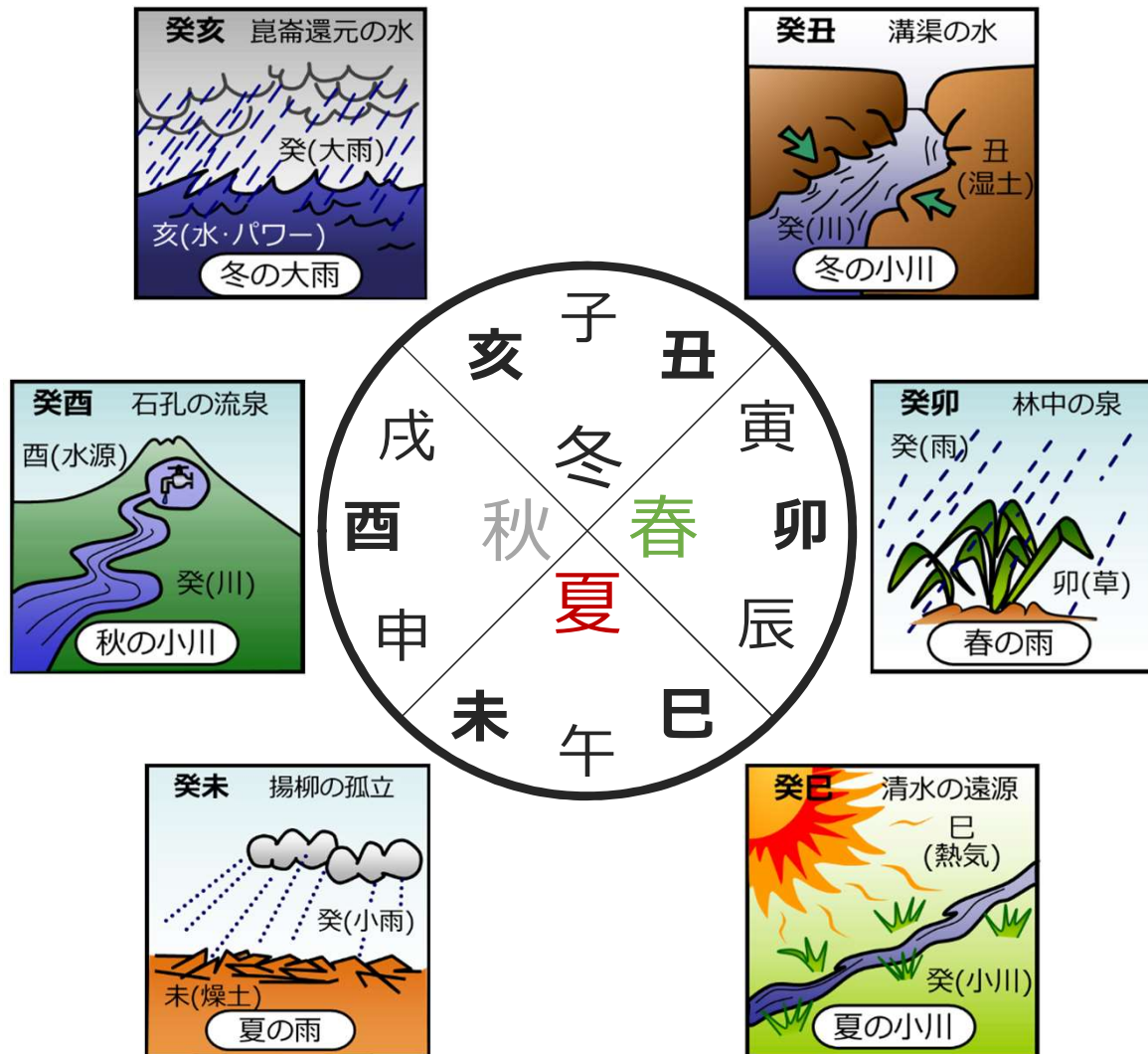
癸→玉堂星の特質(真水→土性が多いと濁る)

器は暗流(時間が経たないと、心を見せようとしないう)

- 時間をかけてじっと我慢していると初めて認められる(晩年運)。
 - 和合協調性は見えない。
根気強く、時間をかけて社交性を養う。
 - 晩年に大きな人脈が形成される。

癸の種類

同じ癸でも組み合わせる地支によって特徴が異なる。



No.	名称	別名
10	癸酉	石孔の流泉
20	癸未	揚柳の孤立
30	癸巳	清水の遠源
40	癸卯	林中の泉
50	癸丑	溝渠の水
60	癸亥	崑崙還元の水

癸酉 ～ 石孔の流泉 (せっこうのりゅうせん)

癸酉 辛酉
水金 金
天胡星(4)
→ 龍高星

大きな問題の無い干支



ろうろ
老路

人間関係の摩擦が少なく世渡り
上手な人。窮地に追いやられても
抜け出せる、要領の良い人。
山中の石の間から流れ出た小川。

癸酉 ～ 石孔の流泉 (せっこうのりゅうせん)

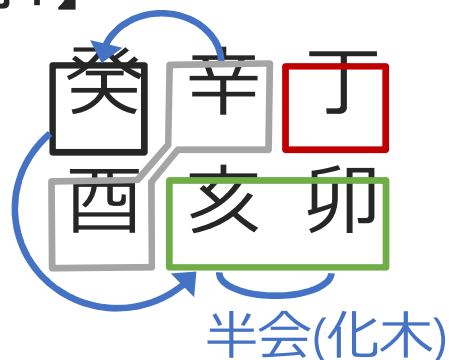
【癸酉日柱の場合】

- 源泉清く長流であり(酉金・辛金→癸水)
これを転じて家系※¹の高秀(良い部分)を司り
文筆活動※²に異彩を放つ。
※1. 家系は、元来長く継続する事を良しとする
※2. 癸の玉堂星(文学)が刺激を受ける
- 頭の良い人が多い。
- 日干の他に木性・火性・辛が揃えば、
大器の人物として経済界・実業界に飛躍する。

しかし、同時に他に庚を見れば水は濁り
(本人は濁知となる)、前進力を失い、晩年が
孤独となる。

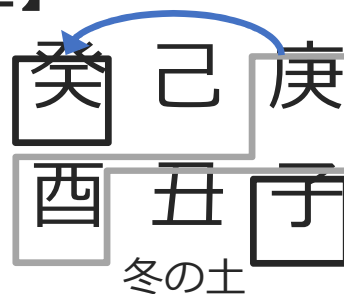
癸酉 ～ 石孔の流泉 (せっこうのりゅうせん)

【例1】



木性・火性・辛が透干している。
水が枯れず清らか。全体暖あり良好。
経済界・実業界で活躍の形。

【例2】



金・水多の宿命。
全体は冷え凍結。
役目を果たせず。

癸酉 ～ 石孔の流泉 (せっこうのりゅうせん)

【一般論】

- 天地が相生関係の人
 - 家系の流れが良好(正統な家系)と判断できる。
特に日干を主として眺めた場合には、代々継続している家系※¹と判断できる。 ※1.五行完備の人に多い
- 陰占が五行完備の人
 - 平凡な人生※²になり易く、多くの場合は大成することが無い。 ※2.恵まれているから努力をしない人が多い
 - 女性の場合は自分自身で完全体※³であり、自己満足(それなりに自立できる)になり、生涯独身を選ぶ傾向あり。
※3.五行完備。容姿に関しても欠点の少ない美形

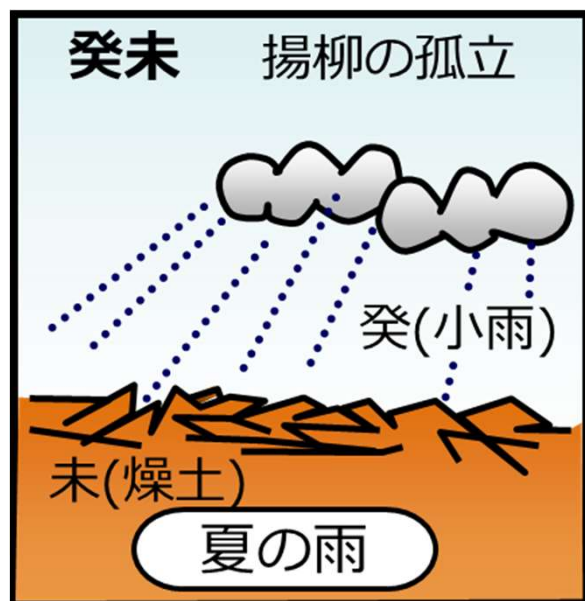
癸酉 ～ 石孔の流泉 (せっこうのりゅうせん)

【一般論】

- 陰占が五行不全の人
 - 偏りがあるほど、大成する要素が強くなる。
人生に不平不満が多いため、日頃から努力をし
後天運とあいまって一気にチャンスをつかむ。

癸未 ～ 揚柳 (ようりょう) の孤立

癸_水 天庫星(5)
未_土
丁_火 → 禄存星
乙_木 → 鳳閣星
己_土 → 車騎星



こり
庫里

名人芸、凝り性の性格。夏の雨であり、瞬間集中の雨で、状態の変化を伴う。一定を保ち難く、変化を恐れず、変化を好む人生となる。

癸未 ～ 揚柳の孤立

- 乾燥する大地に降る雨(夏の雨)であり、弱水が燥土に注ぐ形であるため、水源を必要とする。多芸多才※にして何事にも巧みである。

※多芸多才

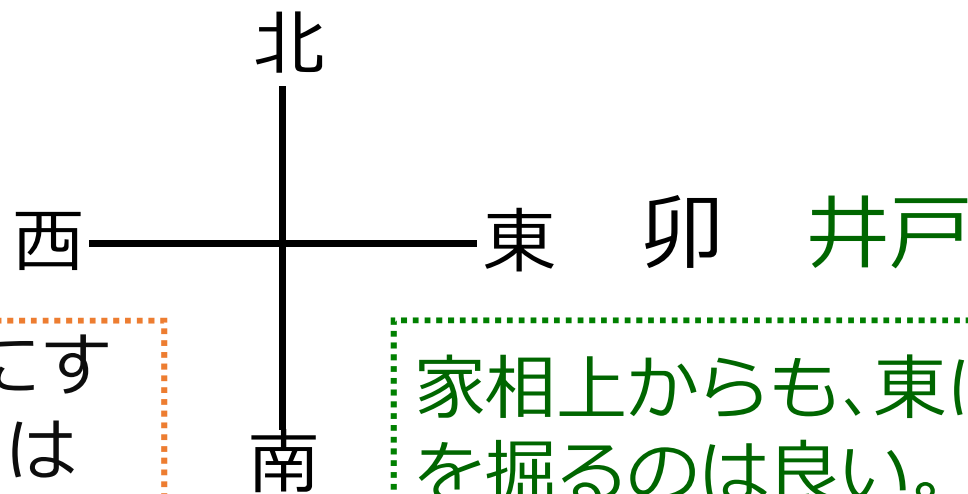
→癸がすぐに消えてしまい、そのまま保てない。この事から変身上手となり、人の言いなりになり易いので、自己主張が弱くなる傾向が出る。多くの
人からの要求に応えようとする結果、多芸多才となる傾向がある。

癸未 ～ 揚柳の孤立

- 癸未日生まれが、三合会局(亥一卯一未)すれば東井(とうせい)と云い名利通達※となる。

但し、特に女性は色情によって身を滅ぼす危険も内在している。一定の異性と長く続かず、移り変わる。

※注意：名利通達とは、財力と名誉名声



癸は水周りをきれいにすること。水は主人公ではないが、必ず必要なもの。

家相上からも、東に井戸を掘るのは良い。

癸未 ～ 揚柳 (ようりょう) の孤立

- 癸未日生まれは、弱水(水源無し为天庫星)が燥土に降り注ぐ形であり、水源となる金性を急務とする。
- 通常、弱水は土性を嫌う。
特に戊は癸と干合し化火になり、癸にとって(牽牛星表出)役目が厳しくなる。周圀が土多で戊の存在が強い場合は従格の人生となり自己喪失となってしまう。

癸未 ～ 揚柳 (ようりょう) の孤立

【例1】 癸

辛	辛
---	---

 金

未	卯	亥
---	---	---

 三合会局(化木)
水源の辛が二透干。
地支三合会局・化木。
東井の宿命(名利明達)。

【例2】 癸

己	戊
---	---

未	未	戌
---	---	---

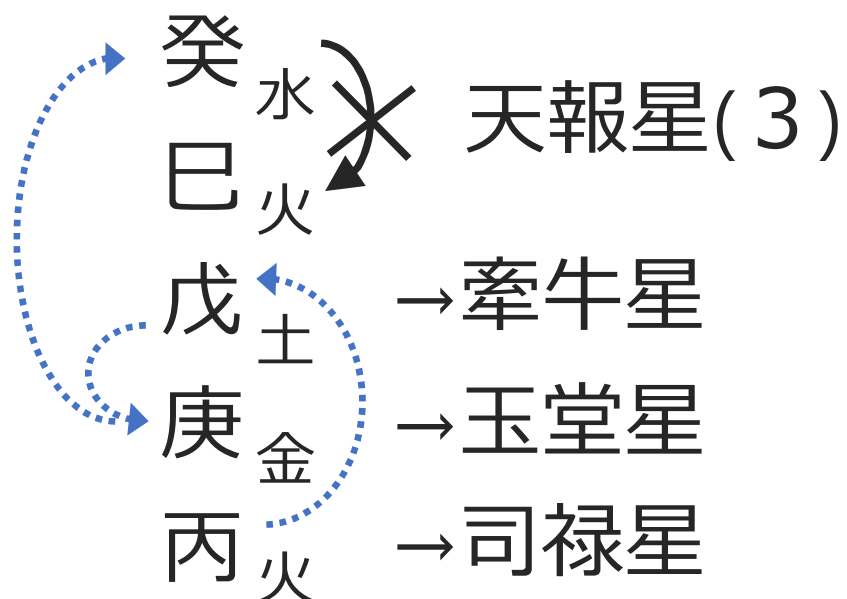
 土
日干以外土性の宿命。
土性に従う(従格＝自己喪失)。
金性があれば通間子(有り難い救い)。

＊ 癸の根(地支の中の壬・癸)なしは、雨・霧・露・雪・小川状態。

＊ 癸の強い根(壬・癸)ありは、豪雨。氾濫する川の状態。

癸巳 ～ 清水(しみず)の遠源

山から長く清らかに流れる
小川だが、脆く弱い。



げん だ

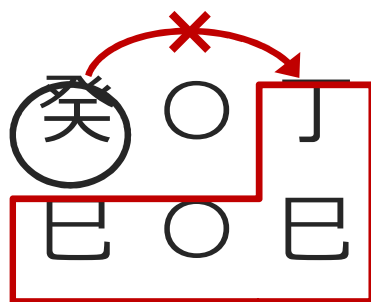
玄陀

六十干支中最もしつこさのある人。
人を恨むと一生恨み、それが仕事の
原動力となる。芸術家等、特殊な道を選
び、一業にのみ進むことで成功。

癸巳 ～ 清水(しみず)の遠源

- 他の干支に丁巳を見れば、財格に入り、金銭運(禄存星・司禄星)が見事となる。

【例】



宿命に無ければ、後天運で火が巡るか、
パートナーが火(丁巳)であれば、金運が上がる。

癸巳 ～ 清水(しみず)の遠源

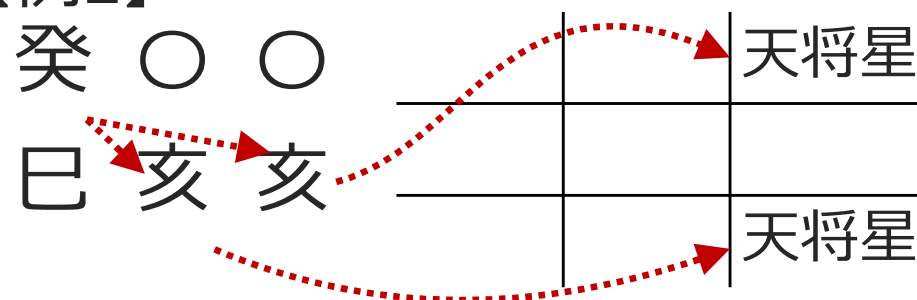
- 他に亥(对冲)を見れば、堤岸が破壊され、まとまりを失う。但し、亥冲が宿命に二つある場合は、逆に吉運となる。

【例1】



巳の座下の戌(堤岸)も
冲で壊される。
人生に波乱が起こる。

【例2】



二天将で大きな成功をする。
ただしとても大変。
世の中に迎合出来ず
虚閑(きょかん)の幸を好む。

癸巳 ～ 清水(しみず)の遠源

- 酒類に弱く、酒によって人生を間違ひやすくなる。
酒類は水の蒸気のスปีドを増す(人生(命)を早く終わらせる)。
 - ※ 酒への耐性は貫索星がポイントとなる。
 - 貫索星があると守られる。
 - 貫索星がないとアルコール依存症になる。
- 六親縁(火性にあぶられて肉親と別れる)が薄く
実の親と順当に行かない特色を持つ。
- 芸術家(火と水の剋戦(水火既済) = 感受性が鋭い)
など、特殊な道(精神的な道)を選び、一芸に進む
ことで成功。

癸巳 ～ 清水(しみず)の遠源

- 男女共、悪妻悪夫と一緒にすることで幸運(成功)となり、社会的に成功する。
但し、子供の運とシーソーゲームをしてしまうので注意を要する。
- 人を恨むと一生恨み、六十花甲子中、最も恨みを持ち続けるが、それが仕事の原動力となる。

癸卯 ～ 林中の泉

癸_水 卯_木 → 天貴星(9)
乙_木 → 鳳閣星



みょうぼ
妙母

女性の場合、とても子供を可愛がるがその分、夫を大切にしない傾向が出る。男性の場合も子煩悩になりやすく、本人が親孝行でなくても自分の子供には親孝行を強要する傾向がある。

癸卯 ～ 林中の泉

- 人間性豊かな資源を有し、晩年は高名な人となりを作る。初年期に暗い環境(経済的に困難で辛い環境)であれば、逞しい人となりとなるが、明るい環境(経済的に裕福で平穏な環境)であれば病弱でバランスの取れない人生となる。
- 軍人・政治家・事業家などの大将・大器の命ではないが、純粹で人の質としては良い器で(十二大従星が天貴星だから)、公家のような人。

ポイント 清く育つことが大切

癸卯 ～ 林中の泉

- 女性は夫よりも子供を可愛がり(二十八元が子供だから)、夫を大切にしない。
- 男性も子煩悩が多い。
- 他の干支に土性が多いと、泉(自身のこと)は濁り他人を信用せず、人生の流木となる。
(自分の考えが正しくないので他人の考えも正しくないと思う)

改良 純粹性を大切にし清く生きること

癸丑 ～ 溝渠 (こうきょ) の水

癸_水 天南星(10)

丑_土 → 貫索星

癸_水 → 龍高星

辛_金 → 車騎星



えんう

園雨

部分的恵み、本人だけは救われる。
他人の環境に左右されない。
冬の水のため凍りやすく、動きが
少ない。従って、水の疎通が急務
となる。

癸丑 ～ 溝渠 (こうきょ) の水

- 癸丑日柱の人は専気※と考慮でき、他の天南星に比較すると、天将星クラスのパワーを所有している。

※八専ともいい、49番干支～60番干支までを指す。

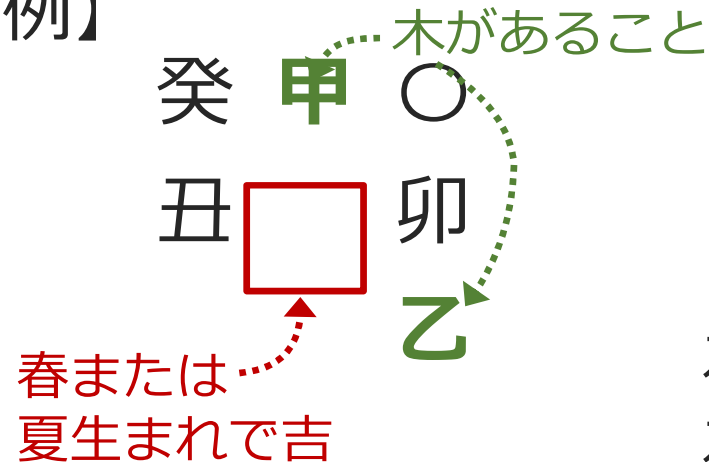
※天南・天禄・天将星の強い干支が集まっている。

49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
壬子	癸丑	甲寅	乙卯	丙辰	丁巳	戊午	己未	庚申	辛酉	壬戌	癸亥
天将星	天南星	天禄星	天禄星	天南星	天将星	天将星	天南星	天禄星	天禄星	天南星	天将星

癸丑 ～ 溝渠 (こうきょ) の水

- 丑は北方で冬。水は凍りやすく、元来動きが少ない。よって、溝の中の水と云う意味から溝渠の水と呼ばれ、水の疎通が急務となる。

【例】



本人



流れ先(輝き)

水(壬・癸)は木(甲・乙)へ
水を流して才能を発揮させる。

* 格言(水の特性を提言した言葉)

「冬動かず、春動き始め、夏猛り狂い、秋枯れる」

* 癸日干の共通項

「動かなくては世の役に立たない」

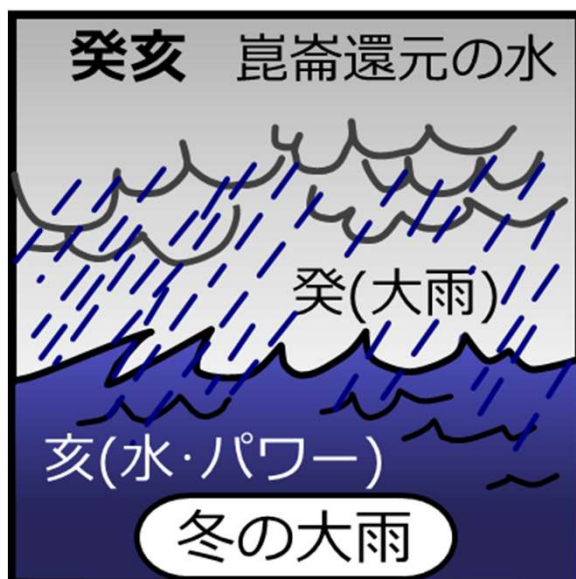
→水は動くことで腐らず万物の役に立つ

癸亥 ～ 崑崙還元 (こんろんかんげん) の水

癸_水) 天将星(12)
亥_水

甲_木 → 調舒星

壬_水 → 石門星



ぼくすい

墨水

心が見えず、心の中が分からない人。
自己表現をしない人。

陰水の強水。冬水といい、冬の雨の
形状であり、冷雨で万物静まり隠す。
故に隠れた大人と云う。

癸亥 ～ 崑崙還元 (こんろんかんげん) の水

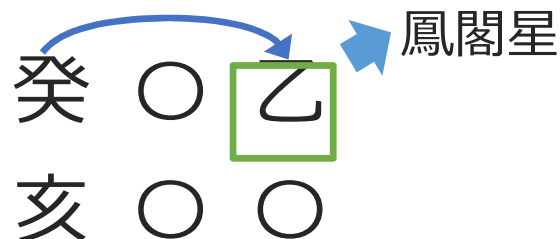
- 癸亥日柱の場合は天地揃って水性であり、水の力は陰とはいえども極旺(陽の旺水は壬子)である。そのため、洩気を用いて※1良好な作用※2となる。

※1.水→木と、木性に流すことで吉

※2.凡人に一步近づく

- 癸亥日柱の人が、他に乙(鳳閣星)を見れば、清風往来にして名利(名声と利益)をつかむ。
- 癸亥日柱の人が、他に巳(亥一巳)の対冲を見れば暴風を起こし漂流の命となる。

【例1】



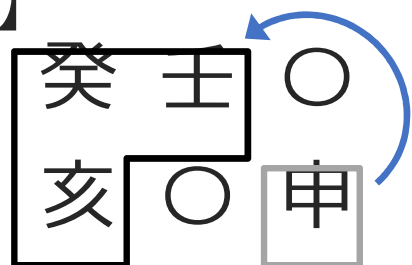
【例2】



癸亥 ～ 崑崙還元 (こんろんかんげん) の水

- 癸亥日柱の人に、他の部分に壬(石門星)と申(天極星)があれば、水旺の宿命に更に水多から、人生波乱の命となる。

【例1】



この場合は、洩気よりも
土性の剋(激しい救い)か、
火性の反剋(自己努力が必要な救い)
を活用した方が効果的である。

- 癸亥日柱の人が他に癸亥を見ると 【例2】
「墨池双魚(ぼくちそうぎょ)」と云い
芸道において中年以降で大成功し
大富大器を得る。
癸 癸 ○
亥 亥 ○
- 全ての身強の人に共通して言えるが、成功者と不成功者の差が激しい。

癸亥 ～ 崑崙還元 (こんろんかんげん) の水

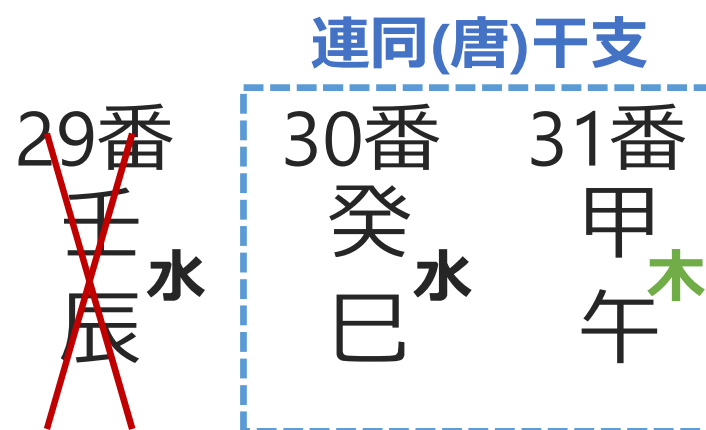
- 天将星を所有し、癸の中で最も強いエネルギーを所有する。
- 癸は陰水。癸の人は、自身の心を知性のベールで覆い隠す事が容易にできるが、癸亥はそれが最も強い。
 - 心の中が解りにくい人。自己表現をしない人。何を考えているか解らない人。

相手にするときは、注意深く観ること

癸亥 ～ 崑崙還元 (こんろんかんげん) の水

【連同(唐)干支】

- 隣同士の干支は連同干支と云い、テレパシーでつながる。
- 条件：隣同士の干支で、かつ五行が違う場合。



癸巳は異常干支 } 一緒にいると異常性が
甲午は正常干支 } 互いに生まれる。